

# 京都市感染症発生動向調査 感染症週報

2023年第11週（3月13日～3月19日）

京都市感染症情報センター（京都市衛生環境研究所）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/41-6-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

## ◆ 今週のコメント

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は7.00で、第5週のピーク(35.58)以降6週連続して減少し、今週で警報解除(※)となりました。

小児科定点把握感染症では大きな変化はありません。

※インフルエンザは、警報レベルを超えたのち、定点当たり報告数10を下回ると警報解除となります。

## ◆ 主な定点把握感染症の報告状況（5類感染症）

定点種別	定点数	感染症名	定点当たり報告数		
			今週	前週	前々週
インフルエンザ	69	インフルエンザ	7.00	11.51	13.72
小児科 (多い順に5位まで)	43	1. 感染性胃腸炎	6.12	6.33	4.51
		2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	1.23	1.02
		3. RSウイルス感染症	0.58	0.37	0.33
		4. 突発性発しん	0.21	0.26	0.21
		5. 咽頭結膜熱	0.09	0.02	0.14
眼科	10	流行性角結膜炎	0	0	0

定点把握感染症の詳細は次ページ以降に掲載しています。

## ◆ 全数把握感染症の報告状況（第10週以前の追加報告分を含みます）

2類感染症 結核 4例（本年累積44例）

今週追加4例内訳(肺結核1例、その他結核1例、潜在性結核感染者2例) うち喀痰塗沫陽性0例

本年累積44例内訳(肺結核22例、その他結核12例、潜在性結核感染者10例) うち喀痰塗沫陽性9例

3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1例（本年累積4例）

5類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1例（本年累積8例）

5類感染症 梅毒 3例（本年累積19例）

新型コロナウイルス感染症 580例（本年累積39,039例）

## ◆ 今週のトピックス：結核

3月24日は世界結核デーで、今年のテーマは“**Yes! We can end TB!**”です。世界結核デーにちなみ、2021年までの結核の状況についてまとめました。詳細をトピックスに掲載しています。

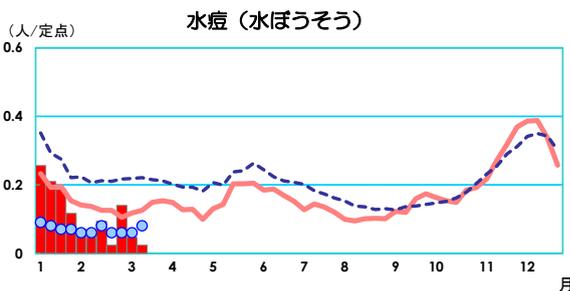
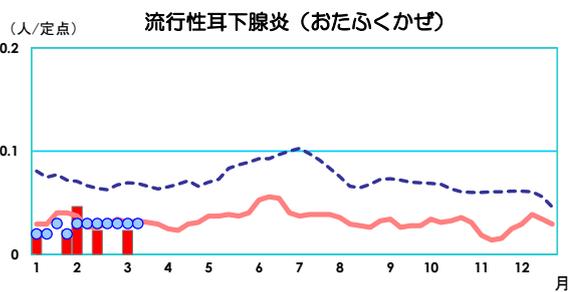
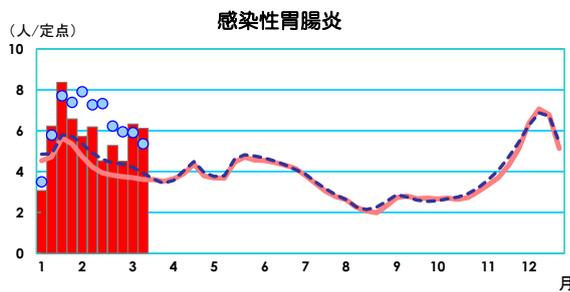
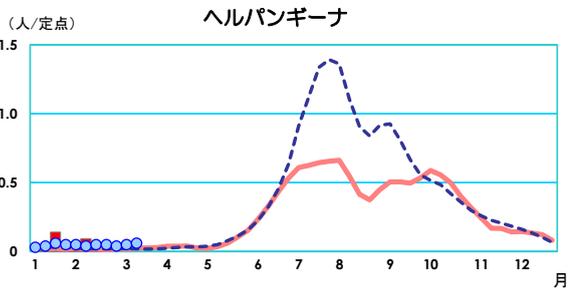
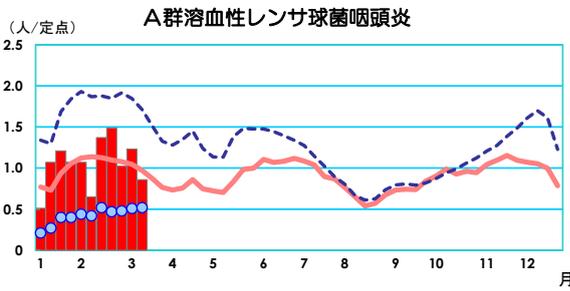
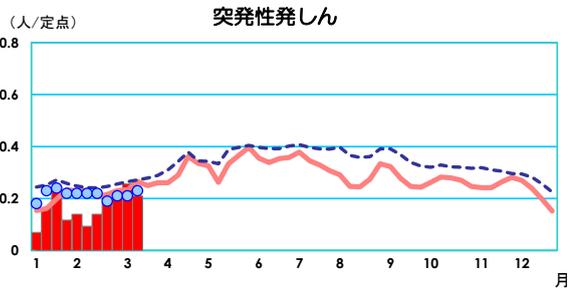
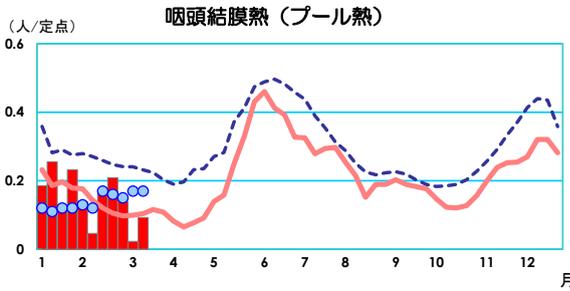
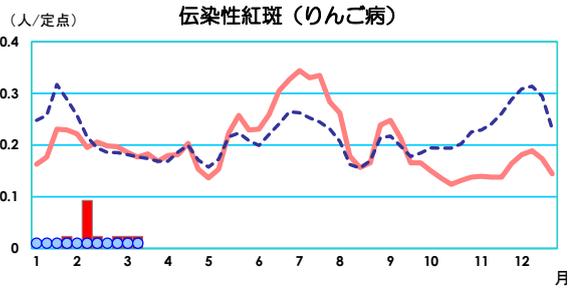
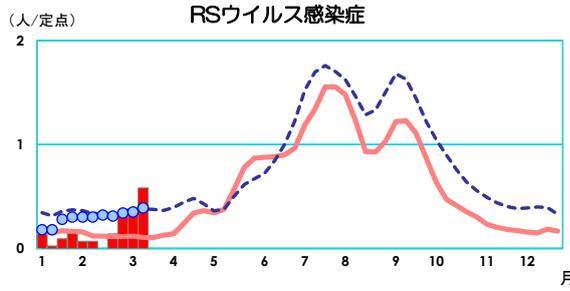
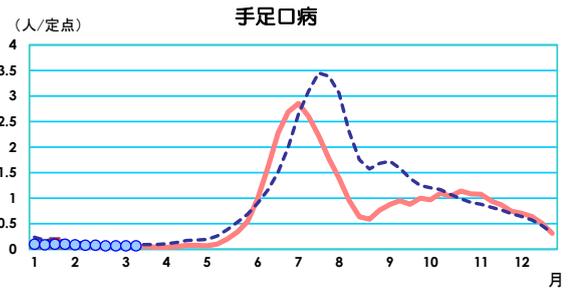
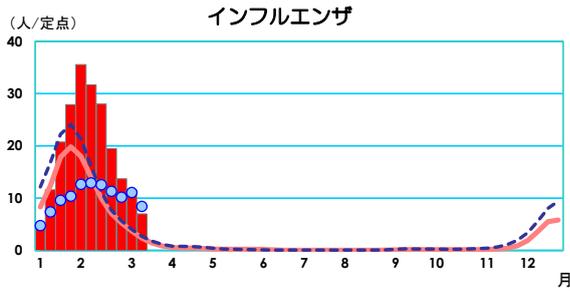
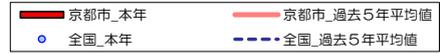
## ◆ 次ページ以降の内容

- ・インフルエンザ及び小児科定点把握感染症の疾病別推移グラフ
- ・インフルエンザ及び小児科定点把握感染症の発生状況地図
- ・全数把握感染症の感染症別月別発生状況
- ・トピックス
- ・インフルエンザ、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の行政区別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の年齢階級別報告数、定点当たり報告数
- ・インフルエンザ、小児科、眼科、基幹定点把握感染症の過去10週推移
- ・インフルエンザ、小児科、眼科定点把握感染症の全国推移

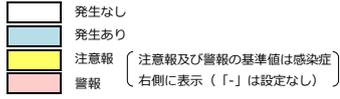
京都市のデータは、2023年3月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

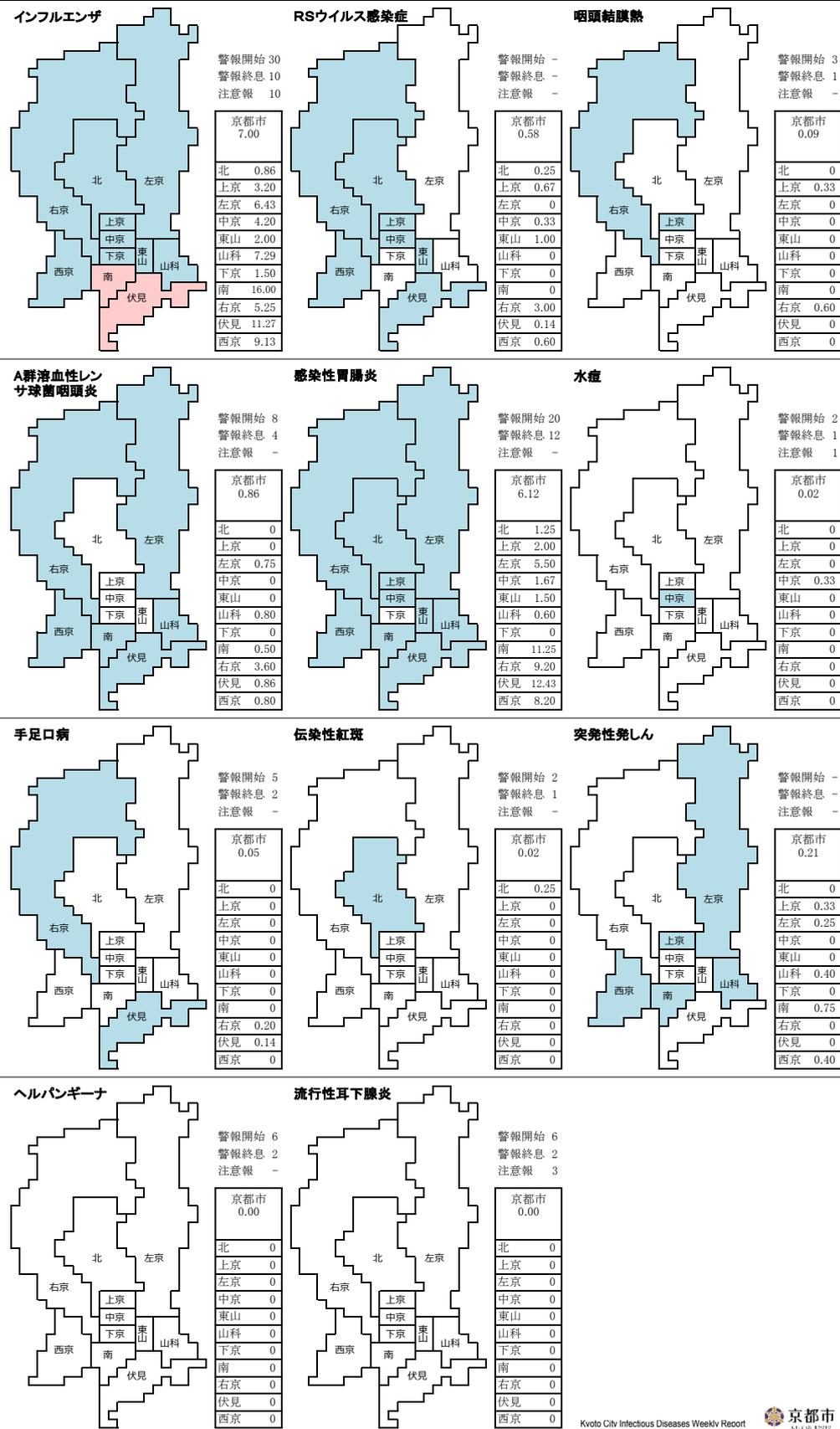
# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2023年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図 【2023年 第 11 週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果であり、立地条件や規模の大小の影響を受ける場合があります。  
 ※警報・注意報の目的は、公衆衛生上の資料として自治体衛生主管部门・保健所等の衛生行政機関専門家に  
 注意喚起することであり、広く一般に向けて発出されるものではありません。



2023年 全数把握感染症の月別発生状況（京都市）

集計期間：2023/1/1～2023/3/19

類別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 累計	2022年 累計(参考)
急性灰白髄炎（ポリオ）														
結核	14	17	13										44	214
ジフテリア														
2類 重症急性呼吸器症候群（SARS）*1														
中東呼吸器症候群（MERS）*2														
鳥インフルエンザ（H5N1）														
鳥インフルエンザ（H7N9）														
コレラ														
細菌性赤痢														1
3類 腸管出血性大腸菌感染症	1		3										4	23
腸チフス														
パラチフス														
E型肝炎														1
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)														
A型肝炎														1
エキノコックス症														
黄熱														
オウム病														
オムスク出血熱														
回歸熱														
キャサナル森林病														
Q熱														
狂犬病														
コクシジオイデス症														1
サル痘														
ジカウイルス感染症														
重症熱性血小板減少症候群（SFTS）*3														
腎症候性出血熱														
西部ウマ脳炎														
ダニ媒介脳炎														
炭疽														
チクングニア熱														
つつが虫病														
デング熱														2
4類 東部ウマ脳炎														
鳥インフルエンザ（H5N1・H7N9を除く）														
ニパウイルス感染症														
日本紅斑熱														
日本脳炎														
ハンタウイルス肺症候群														
Bウイルス病														
B型肝炎														
鼻疽														
ブルセラ症														
ヘネズエラウマ脳炎														
ヘンドラウイルス感染症														
発しんチフス														
ボツリヌス症														
マラリア														1
野兔病														
ライム病														
リッサウイルス感染症														
リフトバレー熱														
類鼻疽														
レジオネラ症	2		2										4	25
レプトスピラ症														
ロッキー山紅斑熱														
アメーバ赤痢	1	1											2	10
ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）														2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	2											4	41
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)														
急性脳炎*4	1												1	3
クリプトスポリジウム症														
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2											3	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症														11
後天性免疫不全症候群	1												1	4
ジアルジア症														1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1												1	5
侵襲性髄膜炎菌感染症														
侵襲性肺炎球菌感染症	4	2	2										8	28
水痘（入院例に限る。）														3
髄膜炎菌性髄膜炎														
先天性風しん症候群														
梅毒	3	11	5										19	95
播種性クリプトコックス症														3
破傷風														2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症														3
バンコマイシン耐性腸球菌感染症														3
百日咳														3
風しん														
麻しん														
薬剤耐性アシネトバクター感染症														1
*5 新型コロナウイルス感染症*6	31,474	5,934	1,631										39,039	331,709

(\*1)病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。 (\*2)病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。 (\*3) 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

(\*4)ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ヘネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 (\*5)分類名は「新型インフルエンザ等」

(\*6)病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。

# 第11週(3月13日～3月19日)トピックス:<結核>

3月24日は世界結核デーで、今年のテーマは“Yes! We can end TB!”です。世界結核デーにちなみ、2021年までの結核の状況についてまとめました。

WHOは、2021年に世界で新たに結核を発病した人を1,060万人、結核で亡くなった人を160万人と推定しています(Global tuberculosis report 2022より)。発展途上国では罹患率が高い一方、多くの先進国では低ま延国の水準である人口10万対罹患率10を下回っています(表1及び図1)。日本は先進国の中では罹患率が比較的高く、40年以上中ま延国でしたが、2021年に9.2となって10を下回り、初めて低ま延国となりました。

本市の2020年の結核罹患率は11.3で、前年の11.8からやや減少しました。2018年策定の第三次京都市結核対基本指針における目標値「12.0以下」を達成していますが、依然として全国の9.2より高い状態です(図2)。罹患率を年齢階級別にみると、高齢者で特に高く、70歳代で16.3、80歳代で48.8、90歳代では116.7でした(図3)。かつて結核の罹患率は高かったため高齢者ほど罹患歴がある方が多く、免疫が低下すると再燃することが一因と考えられます。

なお、2020年に本市の罹患率は大きく減少しましたが、これは同年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響が考えられます。今年は新型コロナウイルス感染症の扱いが大きく変わるため、今後の動向に注意が必要です。

結核の主な感染経路は気道を介した飛沫核感染であり、極めて感染力が高いことが特徴です。患者の早期発見・早期治療は患者本人の重症化を予防するだけでなく、周囲への感染拡大を防ぐために重要です。特に抵抗力の弱い乳幼児への感染は、大半が家族等の身近な患者からの感染とされています。咳(せき)が2週間以上続く、急に体重が減る、身体がだるい等の症状がある場合には、医療機関を速やかに受診しましょう。

京都市では、市内在住40歳以上の人を対象に、定期的に無料の結核検診を実施しています。場所は各区役所・支所で、事前予約制となっています。また、65歳以上の方は、年1回の結核検診の受診が感染症法により義務付けられています。早期発見のため、毎年必ず検査を受けるようにしましょう。

○京都市情報館ホームページ「結核検診について」

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000121872.html>

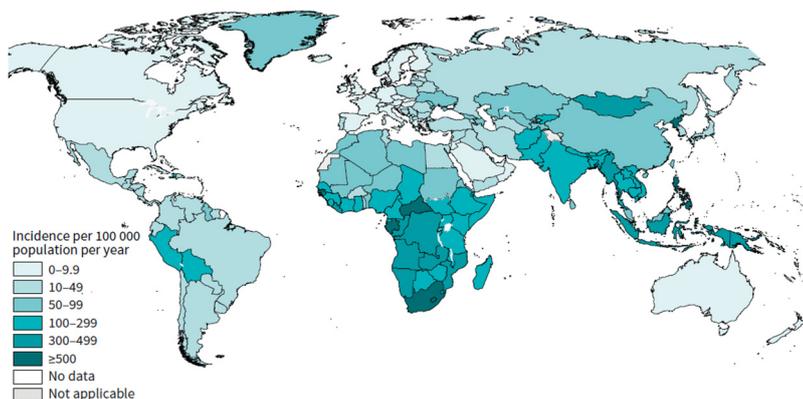


表1. 国別の結核推定罹患率(人口10万人対)\*2

米国	2.6	日本	9.2
スウェーデン	3.8	韓国	44
デンマーク	3.8	シンガポール	48
オランダ	4.4	ブラジル	48
イタリア	4.9	中国	55
ドイツ	5.0	タイ	143
カナダ	5.3	ベトナム	173
イギリス	6.3	インドネシア	354
オーストラリア	6.5	ミャンマー	360
フランス	7.7	フィリピン	650

図1. 2021年の推定結核罹患率\*1

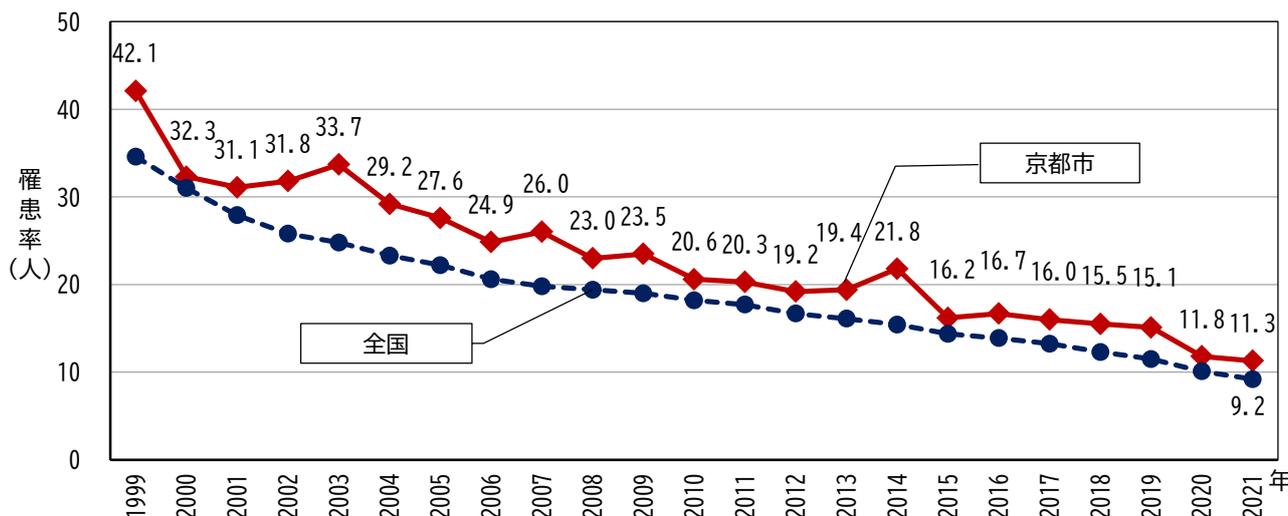


図2. 京都市および全国における結核罹患率(人口10万対)の推移

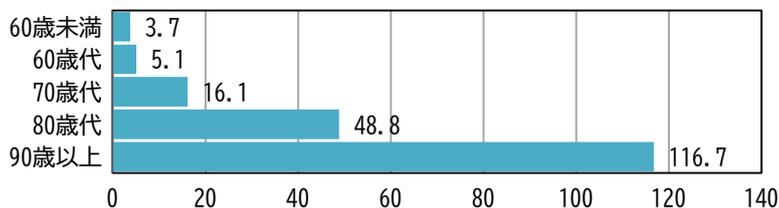


図3. 京都市の年齢階級別罹患率(人口10万対、2021年)

(\*1) Global tuberculosis report 2022 (WHO)より引用。  
<https://www.who.int/teams/global-tuberculosis-programme/tb-reports>

(\*2) 諸外国のデータをGlobal Tuberculosis Programme (WHO, 2023/3/13時点)より、日本のデータを2021年結核登録者情報調査年報集計結果(厚生労働省)より得て作成。  
<https://www.who.int/teams/global-tuberculosis-programme/data>  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095\\_00007.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000175095_00007.html)

京都市感染症発生動向調査情報（行政区別）

T3201

2023年 第11週（2023/3/13～2023/3/19）

データ取得日：2023年3月22日

報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
定点区分	インフルエンザ（定点医療機関数）	7	5	7	5	3	7	2	6	8	11	8	69
インフル	インフルエンザ(※1)	6	16	45	21	6	51	3	96	42	124	73	483
	小児科（定点医療機関数）	4	3	4	3	2	5	1	4	5	7	5	43
	R Sウイルス感染症	1	2	-	1	2	-	-	-	15	1	3	25
	咽頭結膜熱	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	-	3	-	-	4	-	2	18	6	4	37
	感染性胃腸炎	5	6	22	5	3	3	-	45	46	87	41	263
小児科	水痘	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2
	伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	突発性発しん	-	1	1	-	-	2	-	3	-	-	2	9
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	眼科（定点医療機関数）	1	1	1	2	…	1	…	…	1	2	1	10
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	基幹（定点医療機関数）	…	…	…	1	…	…	…	…	…	…	…	1
	細菌性髄膜炎(※2)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	無菌性髄膜炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
基幹	マイコプラズマ肺炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-

定点当たり報告数		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	伏見	西京	京都市計
インフル	インフルエンザ(※1)	0.86	3.20	6.43	4.20	2.00	7.29	1.50	16.00	5.25	11.27	9.13	7.00
	R Sウイルス感染症	0.25	0.67	-	0.33	1.00	-	-	-	3.00	0.14	0.60	0.58
	咽頭結膜熱	-	0.33	-	-	-	-	-	-	0.60	-	-	0.09
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	-	0.75	-	-	0.80	-	0.50	3.60	0.86	0.80	0.86
	感染性胃腸炎	1.25	2.00	5.50	1.67	1.50	0.60	-	11.25	9.20	12.43	8.20	6.12
小児科	水痘	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	0.02
	手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	0.14	-	0.05
	伝染性紅斑	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02
	突発性発しん	-	0.33	0.25	-	-	0.40	-	0.75	-	-	0.40	0.21
	ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	-	-	-	-	…	-	…	…	-	-	-	-
	細菌性髄膜炎(※2)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	無菌性髄膜炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
基幹	マイコプラズマ肺炎	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	クラミジア肺炎(オウム病除く)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	…	…	…	-	…	…	…	…	…	…	…	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（年齢階級別）

T3202

報告数

2023年 第11週（2023/3/13～2023/3/19）

データ取得日：2023年3月22日

インフルエンザ定点 (定点医療機関数69)	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	483	5	7	16	20	42	32	45	37	19	31	19	100	25	27	28	17	4	4	5	-
小児科定点 (定点医療機関数43)	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上						
RSウイルス感染症	25	3	3	9	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	4	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	-	-	3	1	5	5	7	1	2	1	5	3	1	3						
感染性胃腸炎	263	2	12	30	27	35	41	30	25	12	13	10	13	2	11						
水痘	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
手足口病	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	9	-	4	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
眼科定点 (定点医療機関数10)	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹定点 (定点医療機関数1)	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

定点当たり報告数

インフルエンザ定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	80歳 以上
インフルエンザ(※1)	7.00	0.07	0.10	0.23	0.29	0.61	0.46	0.65	0.54	0.28	0.45	0.28	1.45	0.36	0.39	0.41	0.25	0.06	0.06	0.07	-
小児科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20歳 以上						
RSウイルス感染症	0.58	0.07	0.07	0.21	0.12	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	0.09	-	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	-	-	0.07	0.02	0.12	0.12	0.16	0.02	0.05	0.02	0.12	0.07	0.02	0.07						
感染性胃腸炎	6.12	0.05	0.28	0.70	0.63	0.81	0.95	0.70	0.58	0.28	0.30	0.23	0.30	0.05	0.26						
水痘	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-						
手足口病	0.05	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	0.21	-	0.09	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
眼科定点	総数	～6 ヶ月	～12 ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基幹定点	総数	0歳	1～ 4歳	5～ 9歳	10～ 14歳	15～ 19歳	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50～ 54歳	55～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70歳 以上				
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎(オウム病除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

京都市感染症発生動向調査情報（10週推移）

T3203

報告数

2023年 第1週～2023年 第11週

データ取得日：2023年3月22日

		疫学週										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
定点区分	インフルエンザ（定点医療機関数）	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69	69
インフル	インフルエンザ（※1）	367	802	1,432	1,925	2,455	2,188	1,933	1,346	947	794	483
小児科	小児科（定点医療機関数）	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43
	R Sウイルス感染症	6	1	4	7	3	3	-	6	14	16	25
	咽頭結膜熱	8	11	5	10	6	2	7	9	6	1	4
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	46	52	46	46	28	59	64	44	53	37
	感染性胃腸炎	132	268	360	283	246	266	195	227	194	272	263
	水痘	11	9	8	5	3	2	4	1	6	2	1
	手足口病	6	7	10	2	5	5	5	-	-	1	2
	伝染性紅斑	-	-	-	1	-	4	1	-	1	1	1
	突発性発しん	3	7	10	5	6	4	6	8	9	11	9
	ヘルパンギーナ	-	2	6	3	3	4	2	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	-	-	1	2	-	1	-	-	1	-	
眼科（定点医療機関数）	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	2	4	1	-	2	1	-	-	-	-	-
基幹	基幹（定点医療機関数）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	細菌性髄膜炎（※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

定点当たり報告数

		疫学週										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		(10週前)	(9週前)	(8週前)	(7週前)	(6週前)	(5週前)	(4週前)	(3週前)	(2週前)	(1週前)	(今週)
インフル	インフルエンザ（※1）	5.32	11.62	20.75	27.90	35.58	31.71	28.01	19.51	13.72	11.51	7.00
小児科	R Sウイルス感染症	0.14	0.02	0.09	0.16	0.07	0.07	-	0.14	0.33	0.37	0.58
	咽頭結膜熱	0.19	0.26	0.12	0.23	0.14	0.05	0.16	0.21	0.14	0.02	0.09
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	1.07	1.21	1.07	1.07	0.65	1.37	1.49	1.02	1.23	0.86
	感染性胃腸炎	3.07	6.23	8.37	6.58	5.72	6.19	4.53	5.28	4.51	6.33	6.12
	水痘	0.26	0.21	0.19	0.12	0.07	0.05	0.09	0.02	0.14	0.05	0.02
	手足口病	0.14	0.16	0.23	0.05	0.12	0.12	0.12	-	-	0.02	0.05
	伝染性紅斑	-	-	-	0.02	-	0.09	0.02	-	0.02	0.02	0.02
	突発性発しん	0.07	0.16	0.23	0.12	0.14	0.09	0.14	0.19	0.21	0.26	0.21
	ヘルパンギーナ	-	0.05	0.14	0.07	0.07	0.09	0.05	0.02	-	-	-
	流行性耳下腺炎	0.02	-	-	0.02	0.05	-	0.02	-	-	0.02	-
眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-
	流行性角結膜炎	0.20	0.40	0.10	-	0.20	0.10	-	-	-	-	-
基幹	細菌性髄膜炎（※2）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	クラミジア肺炎（オウム病除く）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌，肺炎球菌，インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

























